

課目名:理容技術理論 I II 課目コード:I171 I172
単 位 名:理容科 ヘアデザイン・ブライダルシェービングエステ
3単位(90単位時間)
開講時期: 1学年(前期・後期)
担当教員: 権野卓久 真吉一己 長瀬達雅 福本雅彦

●課目授業の目的と学生の達成目標:

養成施設では、理容師になるために必要な事柄をいろいろ学習しなければなりません。
国家試験の課題であるカットング技術やシェービング技術をはじめ、多くの技術科目があります。それらを2年間で効率よく学ぶ

●成績評価の方法:

中間試験(チェック): 9 月ごろ 期末(終了)試験: 12 月ごろ
期末試験により60点未満者は補講と追試・学科模擬試験

●教材・並びに教育方法:

日本理容美容教育センター発行 理美容理論1・2

●特に必要な教育手法、講師、協力企業等:

ウエラによるヘアカラー理論

●この課目の今後の展開:

●備考:

成績不良者のフォロー(時期と方法、達成の検証法):
各試験後1Hの補講授業を行い、その後再試験を繰り返す

1 学年(前期) 2単位(60単位時間)

回	時限	授業内容・授業方法	実務経験のある教員
1	10	理容技術の基礎 人体各部の名称 理容技術における技術姿勢 理容技術とトレーニング	
2	10	理容用具 理容用具と衛生 理容刃物 シザーズ・レザ・クリッパー・コーム・ブラシ・ヘアアイロン・ヘアドライヤー	
3	10	カッティング ヘアカッティングは造型技術であることを教える ヘアカッティングの基本原則 ヘアカッティング技術を習得するために必要な原理・原則を理解させる ヘアカッティングの一般手順 スタンダードヘアのカット技法 レディースカットの一	
4	10	ヘアセッティング レディースヘアのスタイリング レディースヘアのセットに必要な器具とその操作について学習させる	
5	10	パーマメントセット パーマメントウェーブの歴史を学ぶことは、未来の技法や用剤の研究につながることを理解させる ワインディング 上巻き、下巻きの操作を無駄なく確実に手早くできるように訓練させる ワインディングの配列に基づいて毛髪のボリュームや流れを理解させ、ボリュームや流れを理解させ、それぞれのパターンを習得させる アイアニング アイアニングの技術を理解させ、アイロンの持ち方と操作を覚えさせる 形状記憶デジタルパー	
6	10	ヘアカラーリング 染毛剤の種類と原理 染毛剤の安全性と取扱上の注意 ヘアカラーリング技術のプロセス	

1 学年(後期) 1 単位(30 時間)

回	時間	授業内容・授業方法	実務経験のある教員
7	6	シェービング シェービングの要件 シェービングの種類 レザーの正しい持ち方を教え、スムーズに操作できるようにする メンズフェイスシェービング メンズネックシェービング レディースシェービング	
8	4	理容エステティック スキンケア フェイシャルケア ハンドケア フットケア 理容アロマセラピー	
9	4	理容クリニック ヘアクリニックのカウンセリング トリートメント スキンケアとスカルプケア 毛髪の基礎知識 ヘアチェック(毛髪診断)	
10	4	シャンプーイング & リンシング シャンプーイングの方法 シャンプーイングの技法 リンシング	
11	4	理容マッサージ 理容マッサージのマニピレーション ヘッドマッサージ クリニックマッサージ	
12	4	ヘアトリートメント ヘアトリートメントの種類 損傷毛に対する予防、処置、損傷の拡大防止法を学ぶ	
13	4	スカルプトリートメント スカルプトリートメントの種類 ベーシックスカルプトリートメント	